

一般社団法人 回復期リハビリテーション病棟協会 認定
回復期セラピストマネジャーコース



平成 29 年度開講 第 8 期 募集要項

問合せ先 回復期リハビリテーション病棟協会 事務局
〒110-0015 東京都台東区東上野 1-28-9 キクヤビル 5 階
電話 : 03-5816-8061 FAX : 03-5816-8063 E-mail : kai Fukuki@rehabili.jp

一般社団法人 回復期リハビリテーション病棟協会 主催
平成 29 年度 回復期セラピストマネジャーコース
第 8 期 募集要項 (概要)

回復期リハ病棟の制度ができ 10 年以上経ち病棟数は増加傾向にあり、既に回復期リハ病棟に従事している PT・OT・ST(以下、セラピスト)数は、約 1 万 5 千人超となっています。多職種のスタッフがチームを組んで自宅復帰を目指す回復期リハ病棟においては、病棟におけるマネジメントは重要な課題です。

本会では、この課題解決に向けて、病棟マネジメントにもセラピストが積極的に関わるべきであると考え、平成 23 年度より「回復期セラピストマネジャーコース」を開講いたしました。18 日間に亘る経験豊かな講師陣による充実した講義を受講でき、さらに全国の仲間と知り合う機会ともなり、大変有意義なコースです。

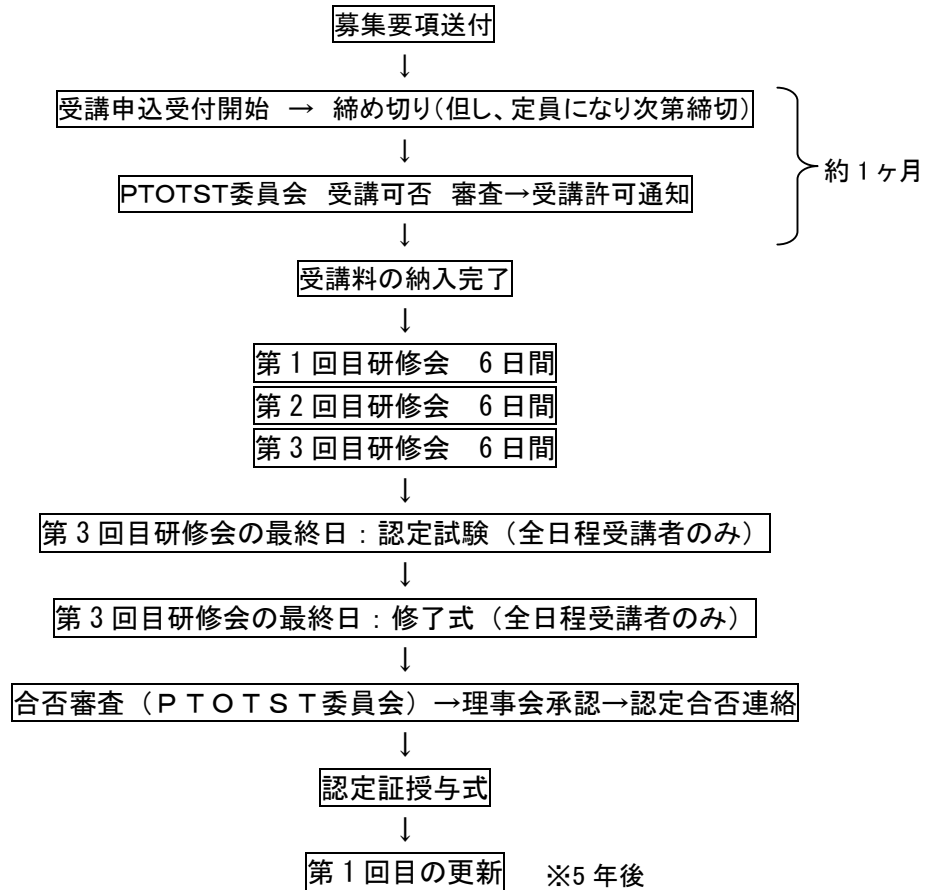
概略は下記のとおりとなります。別紙の申込書にて、お申込みをお待ちしています。

目的:入院患者及びその家族に対する質の高いリハビリテーションサービスの提供は当然のこと、人的・環境的リスクに関するリスク管理及び多職種との協働、さらに病棟運営に寄与し組織管理を実践できる回復期リハビリテーション病棟におけるセラピストマネジャーとしての PT・OT・ST を育成すること

認定証:要件を満たした者に対して、回復期リハビリテーション病棟協会会長名で認定証を交付します。

募集要項										
<p>募集人数 120 名 受付は先着順ですが、受講資格についての審査があります。(2月20日より受付開始です。) 申し込みいただきました後、順次、PTOTST 委員会にて審査をいたしますので受講可否についてのご返答は時間をいただきますこと予めご了承ください。</p>										
<p>1 回 6 日間の研修を 1 年間に 3 回開催、合計 18 日間の研修を行います。 平成 29 年 7 月 18 日(火)～ 7 月 23 日(日) 平成 29 年 9 月 5 日(火)～ 9 月 10 日(日) 平成 29 年 11 月 7 日(火)～ 11 月 12 日(日) 各日、開講科目によって、開始時間、終了時間共に異なりますので、注意してください。(詳細後日)</p>										
<p>会場:三田NNホール 東京都港区芝 4-1-23 三田 NNビル 地下 1 階 Tel 03-5443-3233 最寄駅:都営三田線・都営浅草線 三田駅(直結) JR 田町駅(徒歩 5 分)</p>										
<p>応募要件:次の①～⑦の要件をすべて満たしている者</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">①本会会員施設に所属</td> <td style="width: 50%;">⑥本認定セラピストの趣旨を理解し回復期リハビリテーション病棟の質向上に対し強い意志を有する</td> </tr> <tr> <td>②PT・OT・ST 協会会員いずれかに所属</td> <td>⑦全研修日程(6 日間×3 回)を通して参加する</td> </tr> <tr> <td>③療法士免許取得後実務経験 8 年以上</td> <td>(遅刻・早退・中抜けは認められません)</td> </tr> <tr> <td>④回復期リハ病棟実務経験 1 年以上</td> <td></td> </tr> <tr> <td>⑤施設長、または上司の推薦書</td> <td></td> </tr> </table> <p>※申込みされる前に、必ず認定規約および運営細則をお読みください。 ※ 現在、回復期リハビリテーション病棟に所属していることが必要です。</p>	①本会会員施設に所属	⑥本認定セラピストの趣旨を理解し回復期リハビリテーション病棟の質向上に対し強い意志を有する	②PT・OT・ST 協会会員いずれかに所属	⑦全研修日程(6 日間×3 回)を通して参加する	③療法士免許取得後実務経験 8 年以上	(遅刻・早退・中抜けは認められません)	④回復期リハ病棟実務経験 1 年以上		⑤施設長、または上司の推薦書	
①本会会員施設に所属	⑥本認定セラピストの趣旨を理解し回復期リハビリテーション病棟の質向上に対し強い意志を有する									
②PT・OT・ST 協会会員いずれかに所属	⑦全研修日程(6 日間×3 回)を通して参加する									
③療法士免許取得後実務経験 8 年以上	(遅刻・早退・中抜けは認められません)									
④回復期リハ病棟実務経験 1 年以上										
⑤施設長、または上司の推薦書										
<p>平成 29 年度研修費用: 200,000 円 ※自己都合によるキャンセルは別規定によるキャンセル料がかかります。当会ホームページ「学ぶ」のページよりキャンセル規定についてお読みください。 ※18 日間の研修受講料・テキスト代・お弁当代・交流会費、認定授与式祝賀会代を含みます。 ※但し、交通費・宿泊費等は受講者負担とします。</p>										
<p>お申し込みいただく際には下記①②の内容が必要となります。</p> <p>①受講者は、申請書に応募理由(セラピストマネジャー取得への意気込み)を具体的に記載ください。 ②推薦者(施設長もしくは上司)は、推薦書に推薦者の認定後の病棟あるいは病院にて認定者をどのように活用され、どのように期待しておられるかを具体的に記載頂きます様お願いいたします。</p>										

参考:回復期セラピストマネジャーコース 認定までの流れ



参考:回復期セラピストマネジャーコース 平成28年度7期 講義実績(敬称略・順不同)

※平成28年度7期の実績ですので、平成29年度は予告なく変更になる場合があります。

講義タイトル		講義タイトル		講義タイトル	
回復期リハビリテーション病棟協会 セラピストマネジャーの意義	斉藤 秀之	多職種連携の進め方	下田 静香	チームビルディングのためのリーダーシップとマネジメント	堅田 由美子
回復期リハビリテーション病棟の現状と課題	園田 茂	回復期リハ対象の運動器疾患の理解	西村 一志	地域スタッフとの連携と地域支援体制	佐藤 浩二
回復期リハビリテーション病棟の歴史と意義	石川 誠	嚥下障害	椎名 英貴	病棟マネジメントに必要な労務・経営・財務管理と法令順守	森本 榮
リハビリテーション科専門医の役割	園田 茂	コミュニケーション論	森田 秋子	回復期リハビリテーション病棟ソーシャルワーク	榊原 次郎
地域リハビリテーション	浜村 明德	自施設に活かす医療安全管理	山上 潤一	リハビリテーション医療における連携の視点 ～回復期から地域リハ活動へ向けて～	栗原 正紀
頭部外傷の理解	中村 俊介	高次脳機能障害のリハビリテーション	橋本 圭司	病棟マネジメントについて(総論)	小林 由紀子
障害受容に関する理論	粟生田 友子	廃用症候群とリハビリテーション	里宇 明元	ADLの動作分析とその対応	淵 雅子
リハ医療と治療目標	菅原 英和	訪問リハビリテーション	宮田 昌司	病棟マネジメントの実際	松原 徹
障害者のリハビリテーションと社会制度	伊藤 利之	生活の再構築と自立支援	澤 俊二	メンタルヘルスクエア対策	山田 るり
リハビリテーション医療に必要な運動学	才藤 栄一	会議の進め方	岩崎 榮	リハビリテーションマインドⅠ	大田 仁史
これからのセラピストのあり方	松木 秀行		小薬 祐子	通所リハビリテーションの本質と今後のあり方	斉藤 正身
認知症・せん妄の理解と対応	塩塚 優子	各職種の役割とゴール設定	小泉 幸毅	リハビリテーション看護	猪川 まゆみ
終末期ケア	塩塚 優子	住宅改修とテクノエイド	河添 竜志郎	医療記録	後藤 伸介
脳卒中の理解	宮井 一郎	グローバルな視点から見た回復期リハの価値と 地域リハをめぐる諸問題	澤村 誠志	リハビリテーションマインドⅡ	石川 誠
回復期リハビリテーション後の継続リハと地域連携	井上 智貴	リハビリテーションと栄養管理	漆原 真姫		浜村 明德
チームSTEPPS ～エビデンスに基づいたチームトレーニング～	渡邊 進	組織論・管理学・教育学	北浦 暁子	病棟や在宅で介護を担う家族や介護者とともに ケア方法を検討しよう	砂古口 雅子
脊髄損傷の理解	田中 宏太佳	グループワーク(情報交換)	PTOTST委員会	人材育成とセラピスト教育の実際	井手 伸二
転倒・転落の考え方と対策 ～KYTの手法を用いて～	奥山 夕子	日常診療に潜む倫理問題に気づき、対処するために	稲葉 一人	体験発表(先輩認定セラピストマネジャー)	PTOTST委員会
回復期リハ病棟における口から食べる支援	竹内 茂伸	マネジメントにおけるデータ管理	沖田 啓子	セラマネの先輩と語ろう(体験発表者をもとに)	PTOTST委員会
地域包括ケアシステム推進に向けたPT・OT・STの役割	川越 雅弘				
リハビリテーション実施における合併症のリスク管理 (心臓疾患・糖尿病・高血圧・呼吸器疾患中心に)	森嶋 克昌				

(別紙1) FAX 03-5816-8063

申込日 年 月 日

一般社団法人 回復期リハビリテーション病棟協会 行

TEL03-5816-8061

平成29年度 回復期セラピストマネジャーコース第8期 受講申込書

連絡先	フリガナ			
	病院名			
	病院所在地	〒		
	申込担当者氏名	フリガナ	e-mail 必ず記入してください	
TEL		FAX		
受講希望者氏名 <small>(申込担当者と同じであっても記入してください)</small>	フリガナ	職種 (○をしてください) PT OT ST	役職	

受講資格要件について (はい・いいえに○をしてください。要件を満たさない場合は受講できません)

① 本会会員施設に所属している	はい	いいえ
② PT・OT・ST 協会会員いずれかに所属している	はい 会員番号	いいえ
③ 療法士免許取得後実務経験が研修会初日(平成29年7月18日)時点で8年以上である	はい (年 ヶ月)	いいえ
④ 回復期リハ病棟実務経験が研修会初日(平成29年7月18日)時点で1年以上である	はい (年 ヶ月)	いいえ
⑤ 施設長、または上司の推薦書がある	はい	いいえ
⑥ 本認定セラピストの趣旨を理解し回復期リハビリテーション病棟の質向上に対し強い意志を有している	はい	いいえ
⑦ 全研修日程(6日間×3回)を通して参加できる	はい	いいえ

応募理由(認定取得への意気込み)	推薦書	
	推薦者	役職 氏名
	①推薦理由	
	②修了後の活用の方向性と期待	

- 申込者が複数いる場合はコピーしてください。 ●平成29年2月20日(月)より受付開始です。
- PTOTST 委員会の審査を経て、受講の可否を事務局から通知いたします。
- FAX での送信が、記載内容等の都合で適さない場合は、郵送にて送付してください。